

新興国レポート

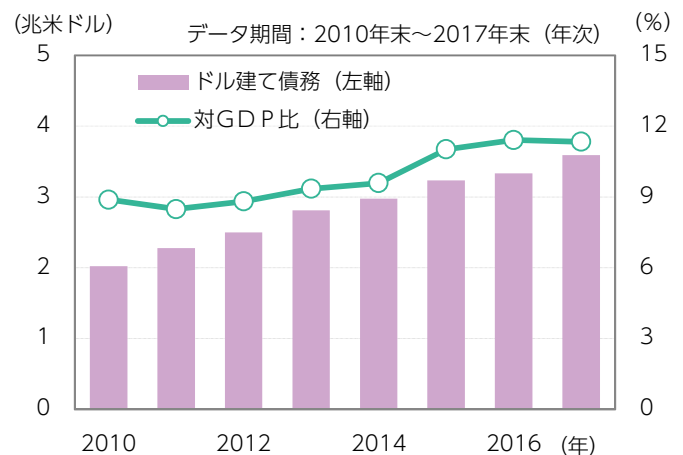
# 新興国の通貨が調整色を強める

## 米ドル建て債務の返済負担増を懸念した動きも

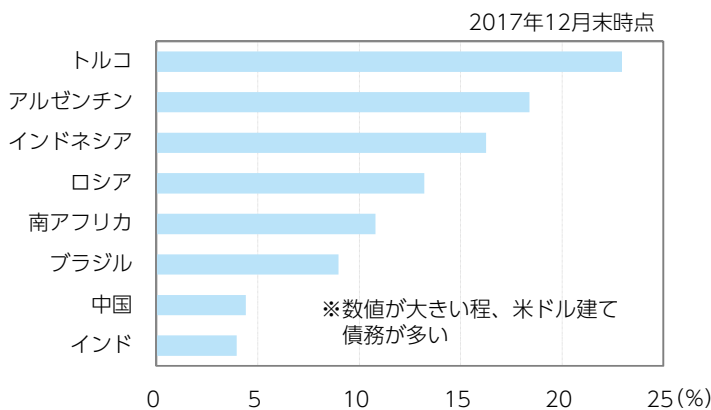
- ✓ 米国の低金利政策等を背景に、2017年末の新興国の米ドル建て債務は2010年末より約8割増加。
- ✓ 昨年末からの主要新興国の通貨（対米ドル）や株価の騰落率は、国によって比較的大きな違いを見せている。同債務の大きさに着目した選別が進んでいる可能性もある。

- リーマン・ショック後の米国の低金利政策等を背景に新興国の米ドル建て債務（除く銀行）が増加しています。2017年末時点で約3.6兆米ドル（約400兆円）と、2010年末に比較して約8割増加しています。対GDP（国内総生産）に対する比率も2010年末の約9%から約11%に上昇しています（図表1）。
- 米金利が上昇したり、自国の通貨が対米ドルで下落する場合等には返済負担が大きくなります。
- 米ドル建て債務のGDPや外貨準備高（何れも米ドルベース）に対する比率は国によって比較的大きな差があります。トルコ、アルゼンチンは高い一方、中国やインドは相対的に低くなっています（図表2、3）。

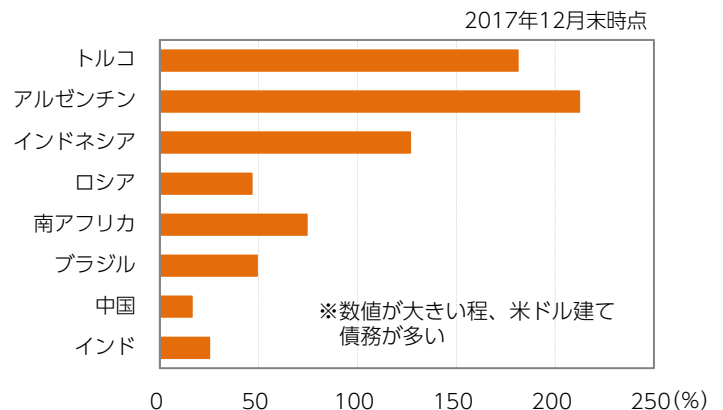
図表1：新興国の米ドル建て債務と対GDP比



図表2：主要新興国米ドル建て債務のGDP比

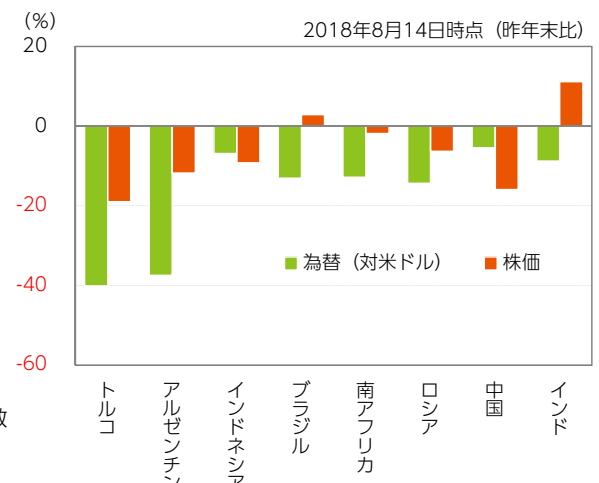


図表3：主要新興国米ドル建て債務の外貨準備高比



- 米・中の貿易摩擦や米牧師の解放を巡る米・トルコとの関係悪化、米金利の上昇観測等を背景に、主要新興国の通貨（対米ドル）が調整色を強めています。8月14日時点で昨年末から4割程度下落している通貨がある一方、一桁台の下落に留まるものもあります。尚、株価については上昇している国もあります（図表4）。
- 米ドル建て債務の大きさ等に着目した選別が進んでいる可能性もあり、先行きの不透明感が一段と強まる場合等には、その傾向が強まることも考えられます。

図表4：主要新興国の為替と株価(注)の騰落率



(注) 通貨：トルコリラ、アルゼンチンペソ、インドネシア rupiah、ブラジルリアル、南アフリカランド、ロシアルーブル  
 中国人民元、インドルピー  
 株価：トルコ：ISTEX100種指数、アルゼンチン：Merval指数、インドネシア：ジャカルタ総合指数  
 ブラジル：ボブスバ指数、南アフリカ：FTSE/JSE アフリカ トップ 40指数、ロシア：RTS指数  
 中国：上海総合指数、インド：セックズ指数

出所) 図表1~3はB I S、世界銀行、IMF、図表4はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>